

ポイント

◆◆特集◆◆

★平成30年7月豪雨に伴うNEXCO西日本管内の高速道路の被災状況と復旧概要★  
(NEXCO西日本 本社 保全サービス事業部 危機管理防災課)

平成30年7月豪雨では11府県で大雨特別警報が発表されるなど、西日本を中心に各地に甚大な被害をもたらした。高速道路の観測所においても過去に例のない降水量を記録し、広い範囲で降雨による通行止め基準を超過した。本稿では、当該豪雨に伴う高速道路の被災状況と復旧概要について報告する。

◆◆道路法令Q&A◆◆

★道路協力団体制度について★  
(国土交通省 道路局 路政課)

道路協力団体制度について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★後志自動車道(余市IC~小樽JCT)の開通とその整備効果等について★  
(NEXCO東日本 北海道支社)

後志自動車道は、後志・道央地域などの連絡の強化を図り、沿線地域の安全・安心を確保するとともに、産業・経済・観光等の発展に資する高規格幹線道路です。平成30年12月8日に余市ICから小樽JCTまでの23.3kmの区間が開通しました。本稿では、当該区間の概要及び整備効果等についてご紹介します。

.....  
★平成31年度「道路ふれあい月間」推進標語を募集します★  
(国土交通省 道路局 道路交通管理課)

国土交通省では、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等各種活動を特に推進していますが、この一環として、平成31年度「道路ふれあい月間」推進標語を広く一般から募集します。

---

## ◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

### ★北陸地方整備局管内における日本風景街道の取組み★

(北陸地方整備局 道路部 道路計画課)

登録開始から10年以上が経過した「日本風景街道」は、現在、全国で141ルートが登録されています。本稿では、北陸地方整備局管内の計13ルートの取組みなどについて紹介します。

.....

### ★良好な沿道景観の形成に向けた取組みについて★

(沖縄県 土木建築部 道路管理課 補修班)

沖縄県では本土に比べ植物の生長が早く、道路植栽の剪定や除草を頻繁に行う必要があるが、予算の制約のもと効率的・効果的な維持管理を行うことが課題となっている。一方、入域観光客数が増加傾向にある沖縄県では、観光地を結ぶ道路の景観向上は、沖縄振興にとって重要なものである。本稿では、県管理道路における良好な沿道景観の形成に向けた取組みについて紹介する。

.....

### ★沖縄市の空洞化調査に関する取組について★

(沖縄市 建設部 道路課)

本市の管理する道路は、整備から数十年経過している路線も多く、また、琉球石灰岩や島尻層の小起伏に富む波浪状地形を呈した地形である特質や地下埋設物の影響等の要因で陥没被害も発生しています。道路陥没の要因である路面下の空洞化は、目視での判断は非常に困難であることから、空洞化調査を実施しています。

## ◆◆編集後記◆◆

昨年の12月には暖かい日が多く、冬であることを忘れてしまいそうでしたが、1月に入ると、朝夕の寒さが身にしみる日が多くなり、冬を感じています。寒い冬を乗り越えるためには、屋外でのレジャーや通勤・通学時など、色々な場面で活躍する「使い捨てカイロ」が欠かせません。電気やガスを使うことなく、袋から出すだけで暖かさが長時間持続するので、冬が訪れるたびに愛用しています。

もともと“カイロ（懐炉）”とは、ふとこ（懐）に入れて、暖かさをとる（炉）ための道具であり、江戸時代には、石や砂を温めて布に包み、着物の懐に入れて身体を温めていたそうです。その後、明治時代に入ると、炭や灰を練ったものを容器の中で燃やす炭・灰式のカイロが使われるようになり、大正・昭和時代に入ると、ベンジンと白金の化学反応を利用したカイロが使われるようになりました。そして、昭和後期になり、鉄粉の酸化熱を利用した「使い捨てカイロ」開発されると、その便利さから大ヒットし、またたく間に普及していきました。発売当初は貼らないタイプのみでしたが、今では、貼るタイプや靴・靴下用、中敷用など様々な種類が販売されています。

ちなみに、発売当初の「使い捨てカイロ」は、袋から取り出して数回振ると、酸素が取り込まれて温かくなる仕組みであったことから、一刻も早く温かくなりたい冬の朝などには、振ったり揉んだりしていました。現在は、不織布面全体に開けられた小さな穴から少しずつ酸素が取り込まれるような改良がなされ、振ったり揉んだりしても早く温まることはなく、逆に、目詰まりを起こしてかえって発熱しなくなることがあるようなので注意が必要です。早く温めるには、息をフーッと吹きかけてから、熱を逃さないようにポケットなどに入れると良いそうですが、それでも、寒さが厳しい時には「早く温かくなれー」とつつい振ってしまいます。

今年のお正月は七福神めぐり（初詣）に出かけてきました。長い時には参拝するまで2時間程度を要する神社もあるため、「使い捨てカイロ」をポケットに1つ、腰元に1つ、靴の中に2つ忍ばせてみたところ、足元からぽかぽかとして身体全体が温まり、長時間の行列も苦になりませんでした。その帰り道、セールで賑わうショッピングモールに立ち寄ると「使い捨てカイロ」の詰め放題が開催されていたので挑戦してみました。結果は43個。多いのか少ないのか判断はつきませんが、買い置きの分も含めると、春の訪れまでは暖かく過ごすことができそうです。（K）